

# あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房  
広報 VOL.62 2023.07.01  
編集 あいかわ工房編集委員会  
発行責任者 熊谷直丈  
ホームページ あいかわ工房 [検索](#)  
TEL 046-281-1157



## 美瑛町

もう、何十年前になるだろうか  
八戸からフェリーで苫小牧に着き尊  
敬する写真家・前田真三さんの拓真  
館を訪ねました。

美瑛に移住して素晴らしい作品を  
残されています。

この辺はたばこのセブンスターの  
コマーション写真に使われた樹や、  
車でケンとメリーのスカイラインの  
コマーションに使われた樹が今でも  
残されて語り継がれています。畑の  
色どりがパッチワークのようです  
ね。この風景はいろいろな場面に使  
われています。

前田真三さんの生誕の地八王子は  
陣馬街道・恩方にある夕やけ小やけ  
ふれあいの里に前田真三ギャラリー  
が常設されています。

またこの恩方は童謡夕焼け小焼け  
の作者中村雨紅さんの生誕の地でも  
あり、この付近の情景を曲にされたと  
聞いています。

一度足を運ばれては如何ですか。

## 通常総会について

5月20日(土) に開催  
しました。

議長は中屋職員で1年間  
の事業報告・決算報告が説  
明され承認されました。続  
いて令和5年度の事業計  
画予算案も承認されて総会  
は終了しました。

来賓に 町長代理で

民生部 後藤部長

町議会 渡辺議長

社会福祉協議会 萩原会長

福祉支援課 中山課長

福祉支援課 小島主幹の皆

様にご臨席頂き、暖かい励

ましのお言葉を頂きました。

新理事に渡辺様を迎え左の

通りの体制となりました。

理事長 熊谷直丈

理事 瀧 亀久男

成井清子

佐藤明美

武藤育子

渡辺 基

岡谷俊男

引木和子

監事



## 決算について

令和4年度の決算の概略をご説明します。  
皆さんが毎日の作業で企業様から頂いた  
金額は、836万円です。

作業に必要な材料や消耗品などが7万7  
千円です。836万円から7万7千円を引い  
た828万3千円が皆さんにお支払いした総額  
です。

町からと県からコロナ対策のためと物価  
高騰対策の補助金が25万6千円 歳末助  
け合い配分金を8万円頂きました。

歳末配分金は職員の業務用パソコンの購  
入に充てました。

町からコロナ感染対策補助金10万円を頂  
きました分は、8月の皆さんの工賃の中に  
一人5千円ずつ加算しました。

訓練等給付費収入は4,300万円です。

職員の給与・法定福利費・送迎車経費・燃  
料・地代家賃・など事業を運営して行くた  
めの費用を支出しています。

詳しい数字は神奈川県の情報公表システ  
ムに登録していますので、インターネット  
からご覧になれます。

## 工賃について

皆さんが毎日頑張ってお仕事をやって頂いた分の大切な工賃は皆さんがどのくらい仕事に対して真剣に取り組んでいられるかによって決めさせて貰っています。

皆さんの仕事の出来具合は、毎日どれだけできたかをデータとしてとっています。皆さんには一人一人違う障がいがあつて同じ基準で計ることはできません。

ですから、夏 冬 期末の3回に分けて一時金を差し上げています。この一時金は何よりも仕事に対して熱心に通所して下さる出席率に重さをおいていきます。それとみんなの時間の出席回数も計算に入ります。

たくさん仕事が出来なくても、真剣に仕事に向かって休まずに来て下さる方には良い評価をさせて貰っています。

令和四年度

あいかわ工房平均工賃 30,987円

神奈川県平均工賃 14,517円

## みんなの時間について

あいかわ工房では毎月第一金曜日にみんなの時間を設定して、作業は午前中で切り上げて、午後から色々なテーマで開催しています。

12年前の3月11日は東日本大震災のあった日ですね。毎年地震が来たことを想定した避難訓練と火災が起きたと想定しての避難訓練をしています。コロナ禍前は防災センターで体験訓練もして来ました。

そして6年前の7月26日は津久井やまゆり園で大勢の入居の方達が襲われた事件がありました。

この事件を契機に入口のゲートが必要な時以外は閉鎖することになっています。

地球の温暖化が影響しているからか、集中豪雨が各地で続き、そのために地盤が緩んでがけ崩れが発生しています。

火山の多い日本、プレートが入り組んでいて地震の発生源がたくさんあるのでどのへんで大地震が発生するという予測がされていますが、来るのが何時なのかまではわかりません。

災害が発生した時には誰でもパニック状態になりますけれど普段から訓練していると少しは落ち着いて行動ができると思います

そして何よりも大事なものは、大きな声で助けを求めます。私たちは知らない人にお願ひすることには慣れていないので大きな声で助けを求めることが苦手です。

そんなことも含めて、自分のことを発表したり、仲間の事を聞いたりする時間。その他にテーマを決めて話し合ったりします。また、正月、豆まき、七夕、など季節に合わせた行事をします。打楽器やオカリナなどの演奏もお願いすることがあります。

日常のお仕事の大切さと同じようにこのみんなの時間を大切にしています。



## 福祉サービスの在り方について

私たちが生まれて来て、お医者さんや看護師さんに見て貰い、異常が見つかった方、何もなくてずっと経つてから、障がいが見つかった方、そして年数が経過していくうちに、保育園や幼稚園・小学校から中学高校とたくさんの方の先生方や役場・関係機関の方たちの応援があります。また病気や事故で障がいを持たれた方もいらっしゃいます。

あいかわ工房に来られるみなさんにも、来られる間には多くの方たちの応援を頂いています。

役場や相談支援の方達との連携であいかわ工房に来られて、お仕事をするには、皆さんの長い一生のうちのある期間をご一緒させて頂くことです。

一本の線の両側にはたくさんの方達が、連絡を取りながら、皆さんが快適に生活して頂けるように、ご家族に安心して頂けるように、連携しています。

私たちあいかわ工房は職員が丸となって、皆さんと共に努力して行きます。



4  
月  
生  
ま  
れ



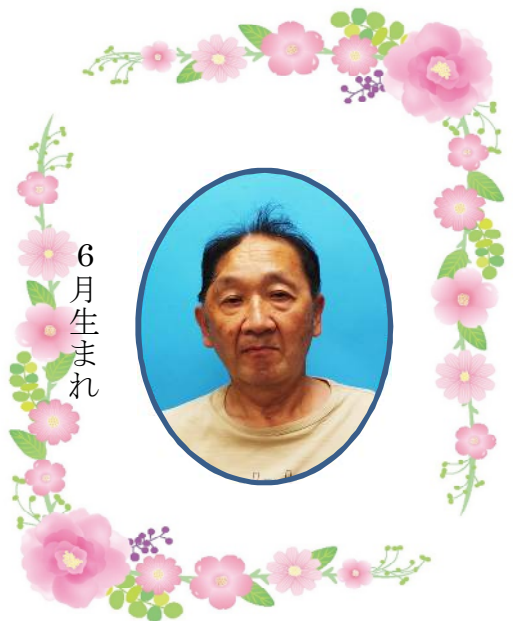
6  
月  
生  
ま  
れ



6  
月  
生  
ま  
れ



5  
月  
生  
ま  
れ



6  
月  
生  
ま  
れ



6月13日 梅雨の晴れ間をねらって、相模原北公園へアジサイを見に午後から行きました。数日間雨模様で14日に予定していたのですが、天気予報から急遽13日に決めました。あくる日は雨になりましたから、良い決断でした。久しぶりの外歩きで、リフレッシュが出来ました。





## あいちちゃんサービス

愛川町では高齢者の日常生活支援として、準備段階を経て昨年の7月からあいちちゃんサービスがスタートしました。町にはシルバー人材センターとあしボ(愛川町シルバーボランティア)が活動していますが、そんなに難しくありません、1時間程度で終わる簡単な頼みごとをお手伝いする組織です。この組織の準備段階からあいかわ工房の理事長は参加して来ました。

お手伝いする人もお手伝いを頼む方も65歳以上、そして障がいのある方は一人暮らしなら年齢に関係なく依頼することが出来ます。

どんな頼み事や作業でも無料では頼みづらいので、基本的には300円で、材料などは実費になります。自分はこれが得意だからお手伝いをしたい、と思われる方はあいかわ工房へご連絡ください頼みたいことなど詳しくは別紙のパンフレットを参照して下さい。



## 編集後記

今月号は2ページから3ページと文章の多い構成になってしまいました読みづらかったかと思いますが、コロナ禍からのご来賓を迎えるの通常総会もあり、ご家族の皆様にもこんな方針で運営されているのだということをご理解頂くためにこの様な編集となりました。

新しく、渡辺基さんが理事に加わり、また会員には民生委員児童委員を長く勤められて、社会福祉協議会の会長になられた、石井康弘さんと民生委員児童委員の相川直行さんに入会して頂きました。

あいかわ工房は福祉サービスを認可されて来年は15年になります。発足当初から通所して頂いている方は6名もいらつしやいます。これも前理事長 瀧亀久男様の精神を受け継ぎ、永年勤務して貰っている職員の真摯な姿が反映されているものと思っております。

これから日々研鑽を重ねて参りますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。

